

各位

全3ページ
登録速報(2018-105)
2018年3月28日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り新規登録となりましたので、ご連絡します。

新規登録年月日： 2018年3月28日

記

1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号 第24060号
名称 アバンティ1キロ粒剤
種類・含有 トリアファモン(0.50%)、フェンキノトリオン(3.0%)、
フェントラザミド(3.0%)

2. 新規登録内容

(適用)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ クログワイ オモダカ コウキヤガラ	移植時	1 kg/10a	1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ バエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布

トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	フェンキノトリオンを含む 農薬の総使用回数	フェントラザミドを含む 農薬の総使用回数
2回以内	1回	1回

【使用上の注意事項】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにすること。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリは3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、コウキヤガラは発生始期が本剤の散布適期である。クログワイ、オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用すること。
- 散布の際は、水の出入りを止めて十分な湛水状態（水深3～5cm）のままで、まきむらが生じないように均一に散布すること。また、極端な浅水や深水での使用はさけること。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かに行うこと。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行うこと。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行うこと。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
 - 軟弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさけること。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないこと。
- 薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎ及びさやえんどうを栽培しないこと。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法】

- 誤食などのないよう注意すること。
- 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

【水産動植物に有毒な農薬については、その旨】

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 散布後は水管理に注意すること。
- 散布器具の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

以上